

## ～愛着を持って住み続けられる住まいと住環境の実現～

町田市は、1993年に2010年度を目標年度とした住宅マスタープランを策定し、高齢者や障がい者をはじめ、市民の誰もが安全で安心して暮らせるための計画的な住宅の供給の推進を図るとともに、町田市の住環境の特徴でもある「みどり」の保全を図り、潤いのある居住環境の形成に努めてまいりました。

その後、策定から約18年が経過する中で、少子高齢化の進行、経済成長を前提としない成熟社会への移行、居住ニーズの多様化など、社会経済環境は大きく変化しました。国の住宅政策においても、「量」の確保から「質」の向上へと大きく転換が図られています。

今後の町田市の住宅政策では、これらの変化を的確に捉えつつ、町田市固有の課題である団地の再生などの問題に対しても取り組む必要があることから、2011年度を初年度とする新たな住宅マスタープランを策定しました。

今後、市民、事業者の皆様との協働により、“愛着を持って住み続けられる住まいと住環境の実現”を目指し、住宅施策に取り組んでまいります。

最後に、マスタープランの改定にあたり、ご協力いただきました懇談会委員をはじめとした多くの皆様に心よりお礼申し上げます。



2011（平成23）年3月

町田市長 石坂 丈一